

ファンドレイジング戦略モデル団体 募集要項

第9期ファンドレイジング・スクールにおける
リアルケーススタディ対象団体・自団体の公募について

2024年度

はじめに

ファンドレイジング・スクールは「戦略を描き、組織を成長に導くファンドレイザーへ」を目標に、アウトプット重視の実習形式で戦略策定スキルを磨く、9か月間のプログラムです。約40名のスクール生たちが、チームで、または個人で、実在する非営利活動団体に伴走し、「事業・組織・財源を成長させ、ビジョン・ミッションを達成するためのファンドレイジング戦略」を策定するゼミがあります。

近年、社会貢献や社会課題解決への関心の高まりから、ビジネスセクターの出身の受講生も増えており、所属する非営利活動団体がない方もおられます。今回はじめて「公募」という形で、スクール生がファンドレイジング戦略を策定するための対象団体を募集することにしました。

学びの渦中にあるスクール生ですが、それぞれが、修了後のファンドレイザーとしてのキャリアを胸に描きながら、9か月間ファンドレイジングにコミットして学びを深めています。スクール生が策定するファンドレイジング戦略が、社会課題解決に尽力する皆様の団体の成長や発展につながることを願っています。

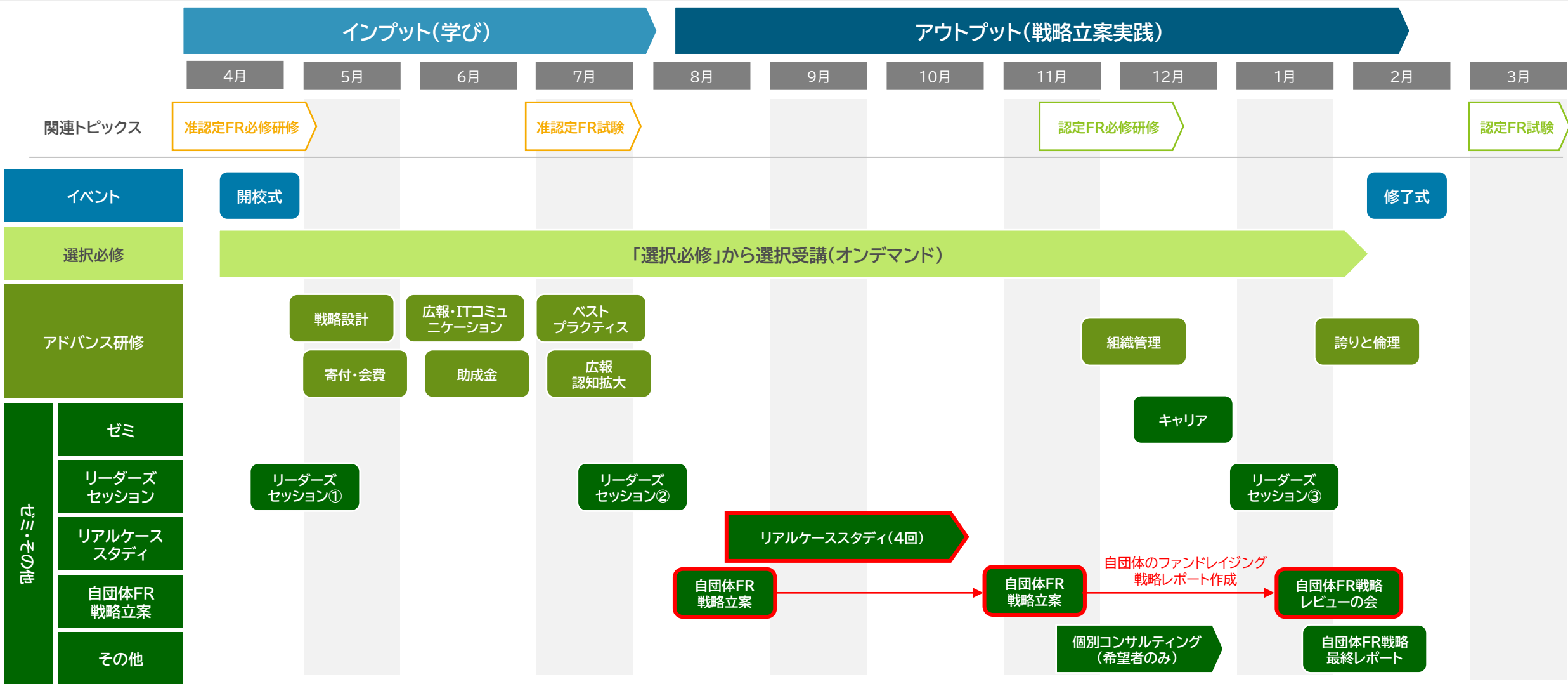
目次

- ファンドレイジング・スクールとは
- ファンドレイジング戦略とは
- リアルケース・スタディ対象団体について
- ファンドレイジング戦略レポート作成の対象団体(個人ワーク) について

ファンドレイジング・スクールとは

目的	戦略を描き、組織を成長へ導くファンドレイザーへ
期間	2024年4月～2025年2月
受講形式	オンライン形式（一部、オンラインと対面のハイブリッド）
カリキュラム	アドバンス研修(ケーススタディ+講義) 8講座 / 選択必修(オンデマンド研修) 8講座 /ゼミ 全12回
学習テーマ	マーケティング/戦略設計/寄付・会費プログラム/広報/ITコミュニケーション/助成金/組織管理/収益事業/企業連携/社会的投資・融資/評価/遺贈/会計・税務・法務・リスク管理/リーダーシップ/誇りと倫理/コミュニケーション
特徴	実習形式で戦略策定スキルを磨く / アウトプット(ゼミ、ディスカッション、発表)による定着 /コミュニティでの学び
受講生	代表・事務局長・職員・プロボノ・ボランティア・伴走支援者等として、非営利活動団体と関わりのある方 社会貢献や社会課題解決に関心のあるビジネスセクターの方 など 合計40名(スクール9期実績)

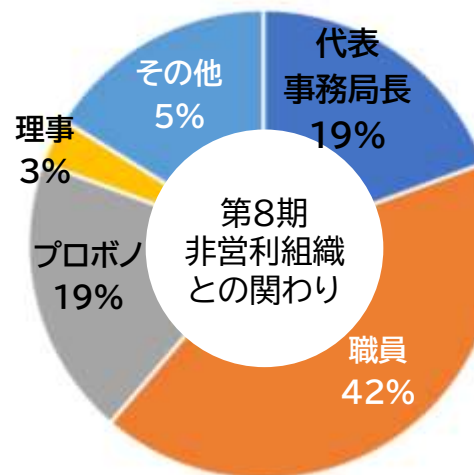
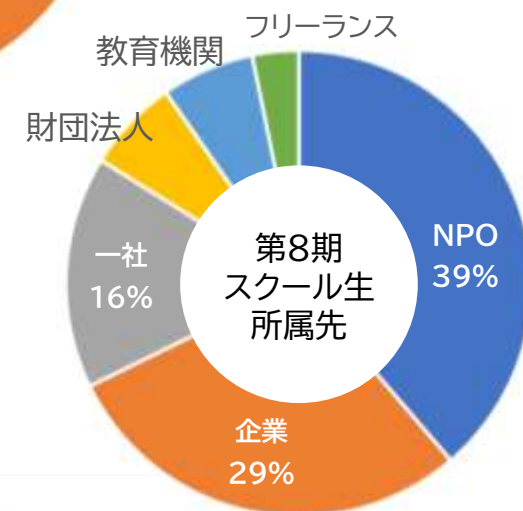
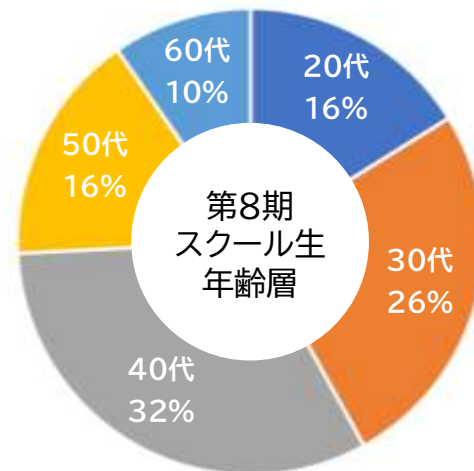
スケジュール



多様な参加者層



首都圏だけでなく、全国、そして海外からも！
年齢層や所属、役職も多様な方々に参加いただいています



ファンドレイジング戦略とは

スクールが目指す「ファンドレイジング戦略」

- 財源のみならず、組織と事業の成長も目指す
- 財源獲得のアイデア集ではなく、外部・内部環境の分析をベースにした現実的な戦略
- 団体のビジョン・ミッション達成に向けたボトルネックを明確にした上で、アクションを策定
- 3～5年先を見据えた中長期のプラン
- 伴走経験豊富なコンサルタントと多様なバックグラウンドを持つスクール生によるフィードバックを複数回受けて、戦略案をブラッシュアップ

ファンドレイジング戦略レポートに含まれるもの

- 対象団体の現状と経緯
- 課題分析(分析フレームワークを複数使用)
- 改善に向けた戦略とアクションプラン(複数年の計画)

ご参加のメリット

- 経験豊富な講師陣のもと作成された、現状の課題分析と改善に向けた戦略、具体的なアクションプランが得られます
- 最終発表会に理事や役員の方々にご出席いただくことで、組織内のモチベーションの向上が期待できます

※スクール生の提案は、団体の皆様から例年高い評価を得ています。また、過去にはプログラム終了後、スクール生がプロボノや有償スタッフとして継続的に活動に関わったケースもあります。

リアルケーススタディ対象団体とファンドレイジング戦略レポート作成の対象団体の違い

	リアルケーススタディ対象団体	ファンドレイジング戦略レポート作成の対象団体
形式	スクール生が5-7名のチームになり戦略を策定	スクール生が個人で戦略を策定
時期	2024年8月~10月	2024年7月~2025年1月頃
参加必須の研修日	①8月31日(土)14時~16時 ヒアリング ②10月19日(土)13時~17時 最終発表会 9月上旬頃に個別ヒアリングの日を設定	なし (個別でインタビュー・MTG等を設定)
費用/謝金	なし/当会から対象団体へ薄謝あり	なし/なし
団体数	1団体を選考	複数団体 (応募いただいたすべての団体がマッチングするとは限りません)
提供いただきたいもの	差し支えない範囲で 下記のような資料・データ類をご提供ください。 ・ステークホルダーピラミッド ・ペルソナ ・ドナージャーニーマップ ・ドナーレンジチャート ・会員アンケート ・これまでの寄付の履歴 など	代表、経営層、ファンドレイジング担当の方へのインタビューと以下の情報のご提供 ・寄付者の数、ドナーレンジ、マンスリー会員数、単発寄付者数 ・関係者・ステークホルダーの規模 ・いま抱えている課題、3~5年後に達成したい事業計画

リアルケーススタディ 対象団体について

リアルケーススタディとは

リアルケーススタディは、9か月にわたる学校のカリキュラムの一環として、スクール生が5-7名でチームを組み、実在するNPOのファンドレイジング戦略を策定するゼミです。約2か月間にわたり団体の課題を分析し、ビジョン・ミッション達成に向けた全体戦略を提案します。

◆リアルケーススタディの流れ



★リアルケース対象団体の方にご出席いただきたい回

リアルケーススタディ対象団体について【募集数:1団体】

対象団体と要件	<ul style="list-style-type: none">●社会課題の解決に取り組む非営利活動団体（法人格や予算規模は問いません）●代表や理事、経営層も含めて、リアルケーススタディ対象団体への応募に賛成していること（スクール内のヒアリング会では、団体の現状や課題・将来像などをお話していただきたく、代表や経営層の方にも積極的にご参加いただきたいため）●スクール生の学びやファンドレイザーの育成に対してご理解をいただけること
こんな団体に オススメ	<ul style="list-style-type: none">●ファンドレイジングの実践や戦略策定に関心はあるが、進め方に迷っている団体●自分たちだけでは戦略が作れないので外部の手を借りたい団体●組織内でファンドレイジングへの理解・協力を得ることに苦労している団体
お願い事項	<p>- ヒアリング(8月31日(土)14-16時)、最終発表会(10月19日(土)13時-17時)へのご参加</p> <p>- 差し支えのない範囲で、下記のような資料・データ類をご提供ください。 ステークホルダーピラミッド、ペルソナ、ドナージャーニーマップ、ドナーレンジチャート、会員アンケート、これまでの寄付の履歴 など ※スクール生全員に「守秘義務誓約書」の提出を必須としております。</p>
参加費	無料(薄謝あり)
【参考】 過去参加団体	<ul style="list-style-type: none">・特定非営利活動法人トイボックス・特定非営利活動法人キープ・ママ・スマイリング・特定非営利活動法人Alazi Dream Project・認定特定非営利活動法人マドレボニータ・特定非営利活動法人ダイバーシティ工房

リアルケーススタディ対象団体からの声 | NPO法人トイボックス 代表理事 白井 智子さん

トイボックスの活動を17年続けてきた私達にとって、たくさんの外部の方々に関わっていただく「ファンドレイジング」は、実は踏み入れるのに勇気がいる領域でした。活動資金によって、より多くの子どもを助けることができるという夢がひろがる一方で、不登校や発達障害など、さまざまな課題とたたかってきた子ども達を、さらに傷つけることにつながるかもしれないというおそれが、拭えなかったのです。

スクール生のみなさんは、そんな私達の気持ちを丁寧に汲み取った上で、トイボックスのことを調べ尽くしてくださり、まだ会ったこともない子ども達に寄り添った、あたたかな提案をつくってくださいました。一つ一つの提案を聞きながら、私達や子ども達のことを考えに考え抜いていただいたことが感じられ、胸がいっぱいになって、思わず泣いてしまいました。

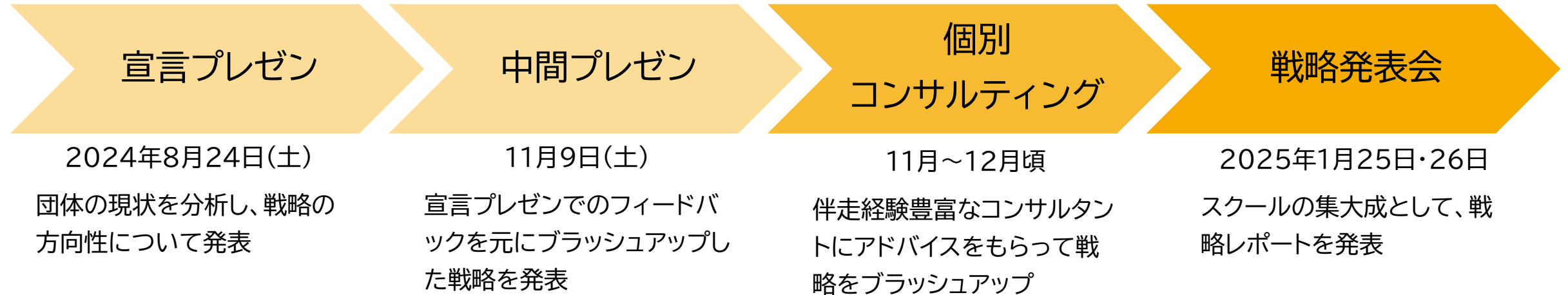
何よりも、私にとってのインパクトは、ファンドレイジングに対するイメージが変わったことです。私達が無意識に感じていた限界を突破して、子ども達と一緒に応援し支えてくださる人達が更に集まってくるような仕掛けができるんだという「勇気」をいただきました。それを教えてくれたスクール生のみなさんに、心から感謝しています。

ファンドレイジング戦略レポート作成の 対象団体(個人ワーク) について

自団体のファンドレイジング戦略レポートについて

スクールの集大成として、スクール生は「自団体のファンドレイジング戦略レポート」を作成します。スクール生の多くは非営利活動団体で職員やプロボノとして活動されているため、それらの所属団体を「自団体」として戦略を策定しますが、中には「これまで非営利活動に関わったことはないけれど、スクールを機にソーシャルな分野にチャレンジしたい」という方もいらっしゃいます。そういった方々が戦略レポートを書くための、ファンドレイジング戦略レポートの対象団体を公募します。

◆自団体のファンドレイジング戦略レポートに関するカリキュラム



ファンドレイジング戦略レポート作成の流れ／対象団体へのお願い事項

【2024年5～6月頃】

マッチング

自団体を持たないスクール生の関心分野や得意分野に合わせて、応募団体とマッチングします

【2024年7月頃～】

ヒアリング 現場の見学

代表の方、経営層、ファンドレイジング担当の方にインタビューをさせていただきます。また、スクール生が見学、体験をさせていただける現場をお持ちでしたら、ぜひとも参加の機会をいただけますようお願いします

【2024年11月頃～】

戦略案の 確認とご意見

スクール生の作成するファンドレイジング戦略をご覧いただき、ぜひ組織の観点からのご意見をお願いします
また場合によって追加でのヒアリングをお願いします

【2025年1月下旬】

戦略戦略策定

スクール生は、策定した戦略レポート(ドキュメント)を提出します
また、直接発表させていただく機会をいただけましたら幸いです

ファンドレイジング戦略レポート作成の対象団体(個人ワーク)について【募集数:複数団体】

- 対象団体と要件
- 社会課題の解決に取り組む非営利活動団体（法人格や予算規模は問いません）
 - スクール生の学びやファンドレイザーの育成に対してご理解をいただけること

- こんな団体に
オススメ
- ファンドレイジングの実践や戦略策定に関心はあるが、何から手をつけたらいいかわからない団体
 - ファンドレイジング戦略策定のフローを一通り体験してみたい団体
 - 外部人材(伴走支援者)の登用を検討している団体

- お願い事項
- 戦略立案に向けたヒアリングへのご協力
 - 代表の方、経営層、ファンドレイジング(財務)担当の方へのインタビューと可能な範囲で以下の情報のご提供
 - ・寄付者の数、ドナーレンジ、マンスリー会員数、単発寄付者数
 - ・どのような関係者・ステークホルダーが何人ぐらいいらっしゃるか
 - ・いま抱えていらっしゃる課題、3～5年後に達成されたい事業計画
 - 戦略レポートへのフィードバック
 - 現場見学機会のご提供

参加費 無料(謝金はありません)

応募方法

【応募フォーム】 <https://forms.gle/mETTJCvkwXJZU1eu6>

【応募締切】 2024年5月8日(水)18時

オンライン募集相談会のご案内

下記の日程で募集相談会を開催します。本プログラムにご関心のある方は、どうぞお気軽にご参加ください。

日程: 2024年4月22日(月)、5月8日(水) 12:10-12:55(オンライン開催)

ご参加方法: 下記Zoomリンクよりご入室ください。※お申込み不要

<https://us06web.zoom.us/j/84599535506?pwd=waBdSWFAbLSiLVJfmeXJW7fb9TcaEq.1>

日本ファンドレイジング協会

「寄付・社会的投資が進む社会」の実現へをビジョンに掲げ、民間非営利組織のファンドレイジングをはじめ、社会的インパクト評価や社会的インパクト投資の促進に向けた研究・事業開発を通して、日本社会をインパクト志向に変革していくための政策提言や啓発活動に取り組んでいます。

名称	認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会
代表	代表理事 鵜尾 雅隆
設立	2009年2月18日
拠点	〒105-0004 東京都港区新橋5-7-12 ひのき屋ビル7F
Webサイト	https://jfra.jp/



非営利組織の信頼性向上と社会課題の解決をサポートするための「グッドガバナンス認証マーク」を取得しています。



